Azarasi

複数文書のトップ文書サンプル

あああ株式会社

Version 1.0, 2016-08-01

目次

1. AsciiDoctor-diagram	1
1.1. asciidoctor-diagram	1
1.1.1. ditaa	1
2. ほげほげサービス仕様書	
2.1. はじめに	3
2.1.1. はじめに その1	3
2.2. 次に	4
2.2.1. 次に その1	5
2.3. 表のサンプル	6
2.4. source code	7
3. AsciiDoctor-diagramサンプル	8
3.1. セクション	8
3.1.1. はじめに その1	8
3.2. 次に	<u>C</u>
3.3. asciidoctor-diagramのテスト	10
3.3.1. ditaaのテスト	10
3.3.2. plantumlのテスト	11
3.3.3. graphvizのテスト	13
3.4. ソースコード	14

1. AsciiDoctor-diagram

1.1. asciidoctor-diagram

1.1.1. ditaa

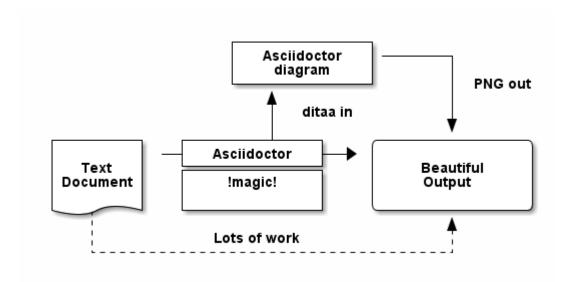


図 1. ditaa diagram sample

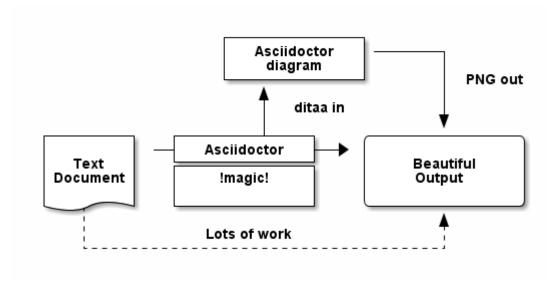


図 2. ditaa diagram sample2

Azarasi 複数文書のトップ文書サンプル



 $\ \ \, \ \ \, \ \ \, \ \ \, \ \,$ 3. close up the azarasi

- ☑ checked
- ☑ also checked
- \square not checked

タスク名	完了?
タスク1	☑ checked☑ also checked☐ not checked
タスク 2	☑ checked
タスク3	□ not checked

Azarasi

2. ほげほげサービス仕様書

2.1. はじめに

= から始まる行はセクションの見出しになります。 ==, ===, … のように = を重ねるとレベルが1つ下がります。

2.1.1. はじめに その1

- **う**これはNOTEのサンプルです。
- これはIMPOTANTのサンプルです。
- これはCAUTIONのサンプルです。
- **___** これはWARNINNGのサンプルです。

2.2. 次に

あああああああああああああああああああああ。

図 4, "close up the azarasi"による。



図 4. close up the azarasi

2.2.1. 次に その1

リスト

- 1. ほげほげほげ
 - a. ほげほげほげ
 - b. ほげほげほげ
- 2. aaaaはげほげ
 - a. ほげほげhogehoge
 - b. ほげほげhogehoge

本日は晴天なり

ラベル

- ・ほげほげほげ
 - 。 ほげほげほげ
 - 。 ほげほげほげ
- aaaaはげほげ
 - 。 ほげほげhogehoge
 - 。 ほげほげhogehoge

 $H_2O E=mc^2$

 $H_2O E=mc^2$

 $H_2O E=mc^2$

2.3. 表のサンプル

表 1, "ほげほげ一覧"に示す。

表 1. ほげほげ一覧

Col 1	Col 2	Col 3
1	Item 1	а
2	Item 2	b
3	Item 3	С

ああああ

表 2. ほげほげ2

Col 1	Col 2	Col 3
1	Item 1	а
2	Item 2	b
3	Item 3	С

表 3. ほげほげ3

Col 1	Col 2	Col 3
1	Item 1	a
2	Item 2	b
3	Item 3	С

表 4. Multiline cells, row/col span

2			
Date	Duration	Avg HR	Notes
22-Aug-08	10:24	157	Worked out MSHR (max sustainable heart rate) by going hard for this interval.
22-Aug-08		152	Back-to-back with previous interval.
24-Aug-08		none	

表 2, "ほげほげ2"に示す。

表 3, "ほげほげ3"に示す。

表 4, "Multiline cells, row/col span"に示す。

表 5. Results

Users	Errors	Tests
8	0	1639

The 表 5, "Results" shows something important.

2.4. source code

```
export default class MyComponent extends React.Component {
    render() {
        <div>Hello, World!</div>
    }
}
```

app.rb

```
require 'sinatra'

get '/hi' do

"Hello World!"

end
```

3. AsciiDoctor-diagramサンプル

3.1. セクション

= から始まる行はセクションの見出しになります。 ==, ===, … のように = を重ねるとレベルが1つ下がります。

3.1.1. はじめに その1





■ これはIMPOTANTのサンプルです。

これはCAUTIONのサンプルです。

A これはWARNINNGのサンプルです。

3.2. 次に

あああああああああああああああああああああ。

図 5, "close up the azarasi"による。



図 5. close up the azarasi

3.3. asciidoctor-diagramのテスト

3.3.1. ditaaのテスト

図 6, "ditaa daiagram sample00"はditaaのサンプルです。 ditaaではascii文字のみ使用可能で日本語は無理っぽい。形式はpngのみ。

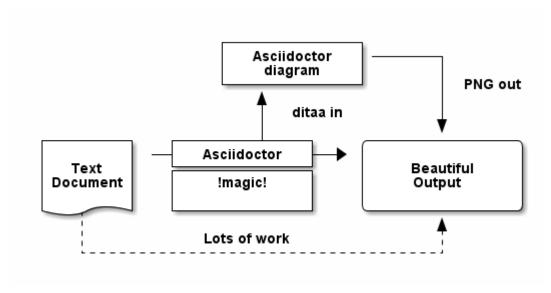


図 6. ditaa daiagram sample00

3.3.2. plantumlのテスト

種類をpngとすれば日本語(UTF-8)でも記述可能。svgとするときはascii文字のみで。 asciidoctor-pdfで使用している日本語フォントに合わせれば、svgでもOKの様子。

図 7, "クラス図"はplantumlのサンプルです。

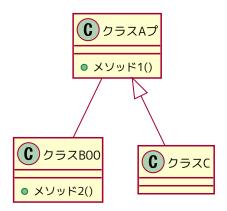


図 7. クラス図

図8, "シーケンス図"はシーケンス図のサンプルです。

シーケンス図のサンプル

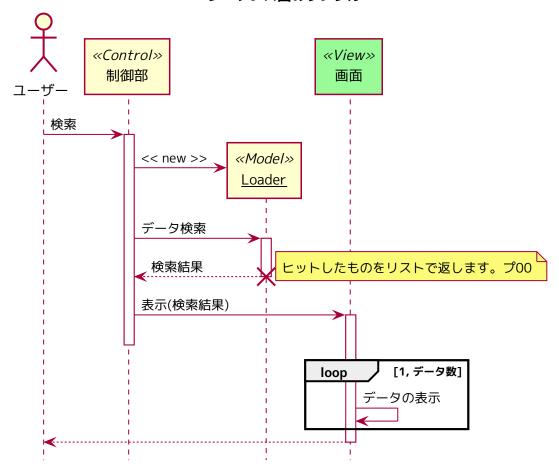


図 8. シーケンス図

3.3.3. graphvizのテスト

種類をpngとすれば日本語(UTF-8)でも記述可能。svgとするときはascii文字のみで。 asciidoctor-pdfで使用している日本語フォントに合わせれば、svgでもOKの様子。

図 9, "The graphviz block"はGraphVizのサンプルです。

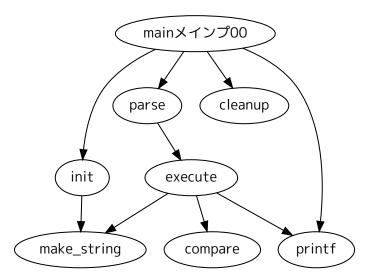


図 9. The graphviz block

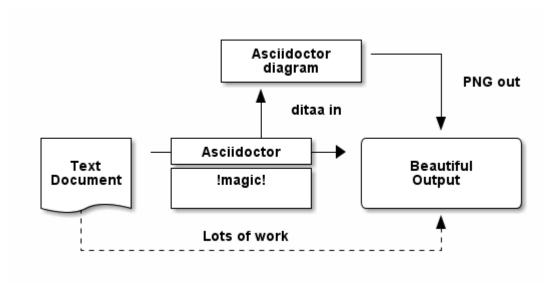


図 10. ditaa daiagram sample2

3.4. ソースコード

```
export default class MyComponent extends React.Component {
    render() {
        <div>Hello, World!</div>
    }
}
```